

Scope KANSAI

関西経済を読む

関西の経済、経営、企業、業界などさまざまな話題・トピックスを取り上げます。(毎週木曜日掲載)

第66回：『会員企業の紹介-2、

次世代型航空機部品供給ネットワーク』

当連載にて、前週まで3回連続紹介してきた次世代型航空機部品供給ネットワーク(略称:OWO=On the Wings of Osaka 大阪の翼に乗って)。前回の正会員企業紹介(8社分)に続き、金属加工業・機器製造業に分けて残りの10社を紹介する。

「金属加工業5社」

池田金属工業株式会社(大阪市城東区、<http://www.ikedakinzoku.com/>)。プレス加工・機械加工をした部品に、マシニング加工・ワイヤークット加工・接合・研磨・熱処理・メッキ、アルマイト等の加工をし、完成品に仕上げる。小物・小ロットにも対応する。

株式会社三輝ブラスト(八尾市山賀町、<http://www.sankiblast.co.jp/>)。マグネシウム成形品およびアルミダイカスト製品の仕上げ加工および機械加工の他、マグネシウムダイカストのライン化にも取り組んでいる。アルミ、亜鉛、マグネシウム、ダイカスト鋳造品加工、ショットブラスト、乾式バレル製造(製加)など、扱う業務は幅広い。

福地金属株式会社(大阪市平野区、<http://www.fukuchi-kinzoku.jp/>)。プレス機械による冷間鍛造加工に特化している。工程設計から金型製作まで一環で行い、スプライン、ギヤーその他冷間鍛造では難しい形状にも挑戦する。自動車部品の製造で培った技術力には自信がある。

日本フッソ工業株式会社(堺市美原町、<http://www.nipponfusso.com/>)。電子材料・医

薬・ファインケミカル・石油化学・食品などの各分野で、フッ素樹脂の特性である付着防止性能や耐食性能を活かした表面処理を施す。世界初となる帯電防止仕様フッ素樹脂コーティングを開発し、環境や安全に配慮したフッ素樹脂コーティングも実現している。

枚岡合金工具株式会社(大阪市天王寺区、<http://www.sg-loy.com/>)。冷間鍛造部品用金型を中心に、独自のコーティング高寿命金型の設計・製造を行う。もう一つの業種として、デジタル統合書類管理システムの開発・販売がある。一見関連性が見当たりにくいのが、製造現場のコスト削減・業務効率アップという、顧客満足の提供という目的は同社の経営理念でもある。経済産業省の「新連携」にも採択されている注目の企業である。

「機器製造業5社」

株式会社中央電機計器製作所(大阪市都島区、<http://www.e-cew.co.jp/>)。ハード・ソフト(LabVIEW・VB・VC)両方の技術を駆使し、数多くの計測器・試験機・制御システムの開発実績を世に送り出してきた。航空機分野でも実績を上げており、防衛庁の戦闘機・練習機の各種試験

装置を手掛けている。次世代ロボット開発ネットワーク「Roobo」にも参画するなど、先端技術の開発に余念が無い。同社も「新連携」の採択を受けている。

株式会社ツールオカフジ（堺市材木町、<http://www.tool-okafuji.co.jp/>）。キャッチフレーズは「匠・斬・削」。特殊総計スローアウェイインサートの設計・製造・販売を一貫して手掛ける。セラミック・サーメット・コーティング・超合金（P、M、K）、超微粒子合金を材料とする商品を手掛け、10個単位の小ロット多品種生産が可能で全国展開を図っている。

株式会社森川製作所（大阪市東成区、<http://www.morikawa-tl.co.jp/>）。特殊照明器具メーカーとして、70年の業歴を誇る。公団住宅・マンション等の一般居宅向けのインテリア用ならびに生活用（洗面所・バス・台所用など）、その他店舗・事務所・商業施設等への業務用向けが主体であったが、屋外用ガーデンライト・壁面埋込照明等の屋外用高輝度白色LED照明の開発に成功。「旅客航空機を主体としたLED照明器具（読書灯）の開発」というテーマで新連携の採択を受けており、OWOとのコラボレーションで航空機産業進出をいち早く目指す。

株式会社マルイ（大東市御領、<http://www.marui-group.co.jp/>）。各種材料試験機・装置の専門メーカーで、特に、力の測定、温度環境の制御およびそのシステム・ソフトを得意としている。また、特殊ボルト等のねじ性能試験機や特殊環境（温度サイクル・酸性雨等）

試験機についての技術ノウハウを蓄積している。計量法トレーサビリティとしての力計・一軸試験機のダブルJCSS認定・登録では、国内唯一のメーカーである。

理光産業株式会社（富田林市中野町東、<http://www.riko.co.jp/>）。工業用フロートの専門メーカーとして、独自の2段階加硫生産で硬質な独立気泡発泡体を生産している。同社フロートの特徴として、燃料・油（オイル）に強い物性・比重設定可能・耐熱仕様、耐圧仕様可能があり、フロート内にメタル・Mgのインサートも行えるなど、特色のある技術を有している。

各社の得意分野、技術は様々であるが、共通する特徴がある。自社の技術に自信と誇りを持ち、新事業への挑戦を恐れない姿勢だ。OWO自身を含め、コアメンバーとして新連携の採択を受けた企業が4社もあることは、企業の規模に因らず他社と連携して課題に応じていく、柔軟性のある企業が会員として集まっている証であると思われる。

18社の魅力が合わさった時、航空機産業への進出は遠くない将来に見えてくるのではないだろうか。

今回は、会員を支えるオブザーバーの紹介を行う。

【お問い合わせ先】

次世代型航空機部品供給ネットワーク事務局（帝国データバンク内）

担当：産業調査課 豊川・川上

information@owosaka.jp【電話：06-6443-3855／FAX：06-6445-5496】

入会についての詳しい情報は、Webサイト（<http://www.owosaka.jp/>）をご覧ください。